

よこすか景観 ニュース

第12号

発行 2012/01/01
よこすか都市
景観協議会



2009年4月 衣笠さくら祭り

. Y O K O S U K A C I T Y .

衣笠地区の景観変遷

■衣笠山公園の桜木保全活動について

「日本さくらの名所百選」に選ばれている衣笠山公園の桜は、今から百四年前の明治四十年、当時の横須賀に在住していた日露戦争の戦没者の霊を慰める忠魂塔が建てられた折りに、付近一帯を公園として整備し、桜木数百本が植樹されたのがその起源とされています。

私は戦後生まれですが、子供の頃、春になると両親や友達とこの公園の桜祭りに来て、満開になった桜の下で、お花見を楽しんだ記憶が今も鮮明に残っています。



さて、その桜木も長い年月の経過と共に老朽化し、手入れ不足も重なり、近年はとて「さくらの名所百選」とは言えない状態になっています。

この窮状を打開しようと、約十年前に近隣住民が中心となって「衣笠山の桜を守る会」を発足させ、衣笠公園の再生に向け、小さな一歩を踏み出しました。これまで、山頂に至る道路両側の桜の下草刈り、施肥や剪定活動を地道に行い、また、



今年からは山頂付近の桜にも手入れを開始しました。

衣笠山の桜が、かつてのように満々の花を付け、横須賀の住民のみならず、近隣の町からも多くの

人々が来て、お花見を楽しめる日が来ることを横須賀市民として祈ると共に、この活動が益々、発展していくことを期待しています。

(前原委員)

■衣笠商店街

皆さんはご存知でしょうか？衣笠商店街は魅力がいっぱい！ってことを。

アーケードの中はいつも買い物をする歩行者がいっぱいです。商品がにぎやかに並び、お惣菜屋さんも多く良い匂いも漂っています。

大型スーパーに慣れた私には、この街はワクワクする要素がたくさんです。そして物価が安い。商店街の始まりは、戦後の蚤の市から発生していて、当時は屋根がかかった薄暗い空間に多くの人が集まり、楽しそうであると同時に怖い雰囲気もあったそうです。

そんな面影を感じさせる昭和の雰囲気満載の商店街が今でも元気に存在します。

写真はアーケードができる前、できた後の様子です。昔からにぎやかですね。

(土屋委員)



■衣笠の魅力をつたえよう「未来の衣笠の町」

衣笠小学校3年生の総合学習の一環として、衣笠の「魅力」を考える意味で、「未来の衣笠の町」をテーマに衣笠の町を考えてみました。

まずは、生徒達と衣笠の町は何が骨格で、何が魅力で、何が悪いのか、またどうしたらいいかと話し合いながら町を歩き、子供達の未来に対する問題点を投げかけ、教室での授業では、衣笠と横須賀線沿線の他の町の駅周辺の特徴や世界の美しい街並みを、画像を使って比較し、感じてもらい、未来の衣笠には何が必要で、何を残したいかをみんなで話し合い、黒板にまとめあげました。



未来の衣笠をつくるにあたり、JR衣笠駅、衣笠十字路、平作川を共通の条件として4チーム（1チーム約10人）に分け、各チームでテーマを考え、衣笠をどのような町にしたいかを発表し、夢のある「未来の衣笠の町」の模型を作成しました。

今後、町づくりに関わっていく次世代の人たちにとって、今回の経験がよりよい衣笠の町づくりに生かされればと願っております。

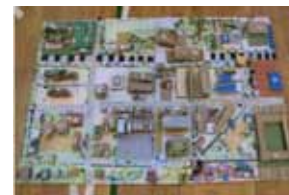
(小泉代表幹事)



■平和な町



■緑のあるゆったりした衣笠



■川の多い町



■ゴミのないきれいな町衣笠